

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2093200034		
法人名	社会福祉法人ハynesライフ		
事業所名	認知症対応型共同生活介護施設グループホーム朝日		
所在地	長野県上高井郡高山村大字牧103番地1		
自己評価作成日	令和 3年 3月 1日	評価結果市町村受理日	令和 3年 12月 15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigvosoCd=2093200034-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社	
所在地	長野市松岡1丁目35番5号	
訪問調査日	令和 3年 11月 2日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームでの新型コロナウイルス感染防止の為に、職員は感染対策研修を受け、緊張感を持ってケアにあたる日々を過ごしている。
外部からの新規入居者に対しては、適切な感染対応ができるよう、職員教育を実践した。現在も窓越し面会を継続中であり
県外や遠方のご家族に対しては電話連絡や写真の送信、動画配信等対応している。
現在、看取りの状態のご利用者は4名おり、ご家族の意向や主治医との連携を密にし、ご本人の苦痛がないように支援を継続している。
また、認知症の研修をリモートで行えるように準備をしている(R3/3予定)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

須坂市から志賀高原、群馬県万座温泉方面へと東に伸びる国道292号線沿いの牧地区に当ホームがあり、村の運営する社会福祉事業所や施設もすぐ近くにあり、また、同じ法人が運営する特別養護老人ホームと老人保健施設も敷地内に併設されており、一つの福祉ゾーンとなっている。開設から12年が経ち、法人理念の「信頼・安心・貢献」とホーム理念の下、90歳以上の利用者が三分の一で、なおかつ、その中には100歳以上の方が複数おり、新型コロナウイルスという未曾有の経験の中で対策を立て、試行錯誤しつつ、日夜介護に当たっている。法人内部での必須研修としての身体拘束を始めとした研修もリモート研修などで対応し、ホーム内での研修は新型コロナの感染予防のため資料を回覧することで職員の資質を高めている。また、新型コロナウイルス禍で利用者の外出が難しくなっているが、日常的には少人数に分かれてホーム周辺を散歩したり、外に椅子を並べて外気浴をしている。例年であれば、年間行事計画に沿い、桜の時期には周辺の桜並木を鑑賞したり、村内の花見スポットへドライブに出かけたり、紅葉狩りや家族と共に善光寺へ外出したり、また、近くの温泉施設へ外食へ出かけることもあるが、現在は自粛となっており、新型コロナ収束後には再開する予定である。現在、新型コロナのため家族との面会が直接できないが、ホーム玄関の中扉を挟み窓越し面会が可能となっている。LINEを使用できる家族が大半で、また、電話の方も含め、意見・要望を聞いたり、様子を伝え、ホーム単独での敬老会などの様子も家族にLINEで伝えるなど、視覚面からの情報発信も行っている。新型コロナ禍ということで活動が制約される中、可能なことには対策や工夫を凝らし、ホーム全体で更なる向上を目指している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない